

## 政策 1-(1)-②

### 1. 政策及び16年度重点施策等

政策	民間との情報交流
16年度重点施策	民間との情報交流の促進
参考指標	民間との情報交流の状況（会合等開催件数、参加者数）

### 2. 政策の目標等

分野	人的資源
課題	専門性の高い人材の育成

### 3. 政策の内容

金融をとりまく環境は情報通信技術の発展等により、更に高度化、複雑化、国際化等が進展してきています。

このような金融情勢の変化に的確に対応し、立ち遅れることなく適切な行政運営を確保していくにあたっては、金融環境に対応した様々なテーマについて多角的な視点から研究を実施していくことが必要であり、そのためには民間との情報・意見の交換を活発に行っていくことが重要となります。これを踏まえて、時宜を得たテーマ設定を行い、研究会の開催、昼休み勉強会の開催、海外の研究者との交流等を行うこととしました。

### 4. 平成16事務年度における事務運営についての評価

(1) 研究会では、大学や民間のシンクタンク等よりメンバーやプレゼンターを積極的に招いて、時宜を得たテーマ設定の下で開催することができたことから、民間との情報交流の面で有意義であったと考えています。

(2) 昼休み勉強会では、民間との積極的な情報交流の観点から、様々な分野における第一線の民間実務家・研究者等を講師として招き、最新のビジネス動向等について講演していただき、参加職員との意見交換も活発に行われました。

また、当該勉強会に関するアンケートでは、今後、民間との情報交流をより一層充実・促進するうえで非常に有益な、職員の希望する講演テーマや講師、開催開始時間や運営形態、当該勉強会の目的に関する意見等が集約できました。

(3) 海外の研究者との交流面

- ① バーゼル銀行監督委員会では、研究官が高度な専門能力を活かし、当庁を代表して参加しており、海外の民間研究者とも有益な情報交換ができたと考えています。また、国際会議における当庁の存在感を高めることにつながり、今後の海外との情報交流の面にも影響を与えたと考えています。更に、この会議における成果は庁内に還元されました。
- ② 研究会においても海外からプレゼンターを呼び、海外の民間企業の有識者とも情報交流が図られました。
- ③ 今事務年度より、論文の全文または概要の英訳をホームページに掲載したことは、海外の民間セクションへの情報発信の観点からも大きな前進であったと考えています。

## **5. 今後の課題**

専門性の高い人材の育成の観点から、職員の専門性・先見性の向上を図っていくためには、民間との情報交流は今まで以上に重要であり、各種会合においてより積極的に民間の研究者・有識者を招聘し、情報交流を促進する必要があります。そして、民間との情報交流（発信）の面で重要と考えられる論文やその翻訳のHP掲載は、今後、より一層充実化させる必要があります。

以上を踏まえ、平成18年度において、金融研究会関係経費の予算要求を行う必要があります。

加えて、引き続き、学識経験者（大学教授）であるセンター長の指導のもと、民間との情報交流の進展を図っていく必要があります。

## **6. 当該政策に係る端的な結論**

政策の達成に向けて成果が上がっていますが、環境の変化や取組みの有効性等を踏まえ、取組みの充実・改善や新たな施策の検討等を行う必要があります。